

JAとしての役割

生産者と連携し、持続可能な茶産地づくり

製造茶葉の種類

- ドリンク原料茶 (ペットボトル)

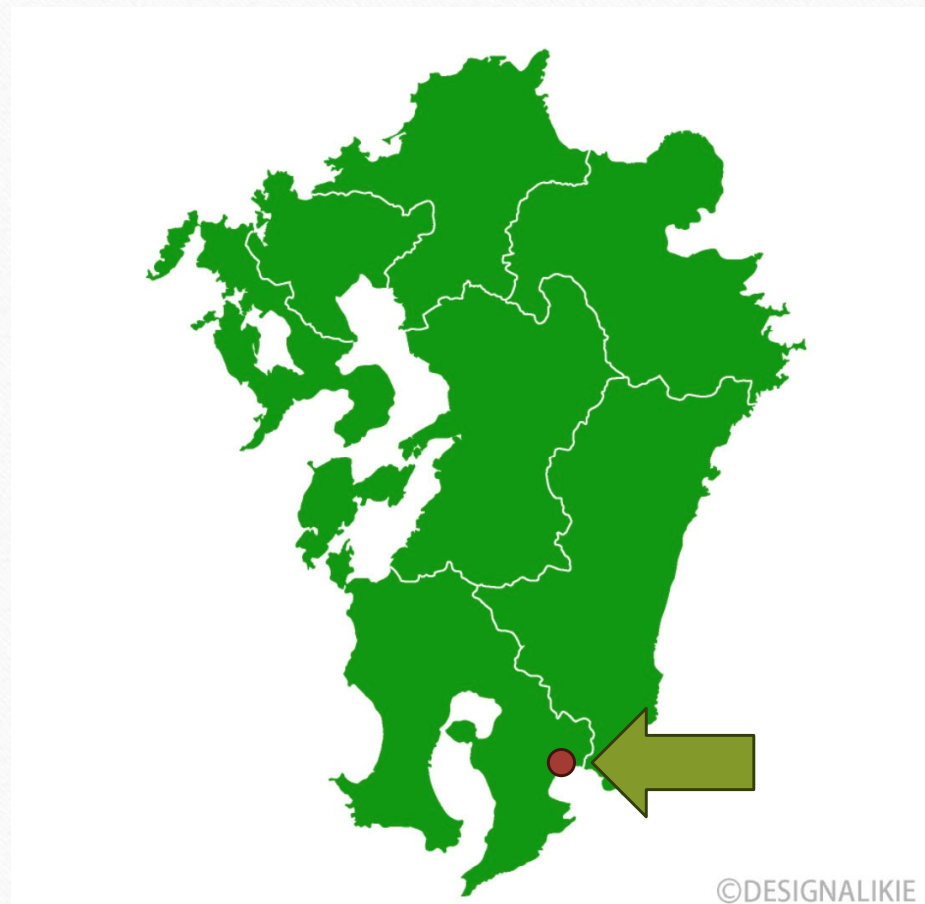


- 碾茶 (抹茶の原料)



産地紹介

- 鹿児島県志布志市有明町
- 有明町内茶園面積 約1,000ha
- 当JA茶工場の系列農家18名
- 茶園面積205ha



茶の摘採から受入

- 生葉収穫後
- 工場の処理能力
- 受入体制の確保



生産者の高齢化

○系列農家の平均年齢 68才

○工場の処理能力が十分でないと、生産者の負担が大きくなる

○適期摘採(茶葉がベストな状況)での収穫ができない



あおぞら農協茶栽培部会 50周年記念 令和5年12月15日

抹茶(緑茶)需要の拡大

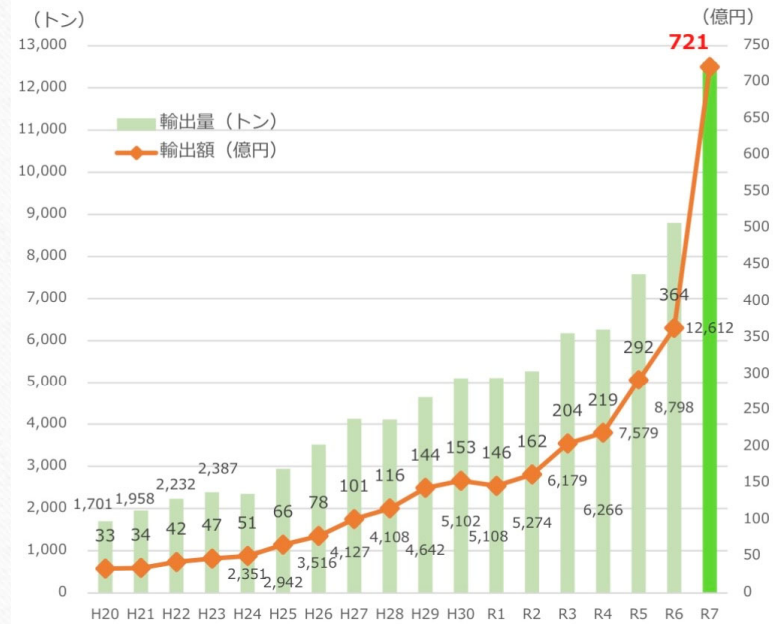
○輸出は右肩あがり

○産地のできる取り組み

※需要への対応

※農家所得の確保

【緑茶の輸出実績（世界）】



【緑茶の輸出価格の推移】

単位：円/kg

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
3,005	2,867	3,069	3,304	3,494	3,851	4,135	5,716

出所：財務省貿易統計

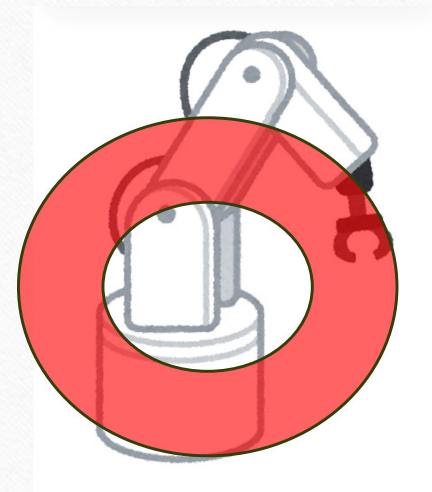
整備前の加工施設

- 主にドリンク原料茶を製造
- 飲料メーカーとの契約販売
- 飲料メーカーから碾茶需要あり



整備後の加工施設

- ドリンク・碾茶ともに750kg 4系列
1時間当たり3,000kgの製造能力
 - 処理能力向上で安定した生葉受入
 - 安心した収穫作業の体制確保
 - 工場内の作業効率の向上
- ※労働者の負担軽減



基盤整備の重要性

- 加工や流通を含めた体制強化
- 地域農業を支える重要なインフラ
- 農家の所得確保と農業継続



新基本計画実装・農業構造転換支援事業